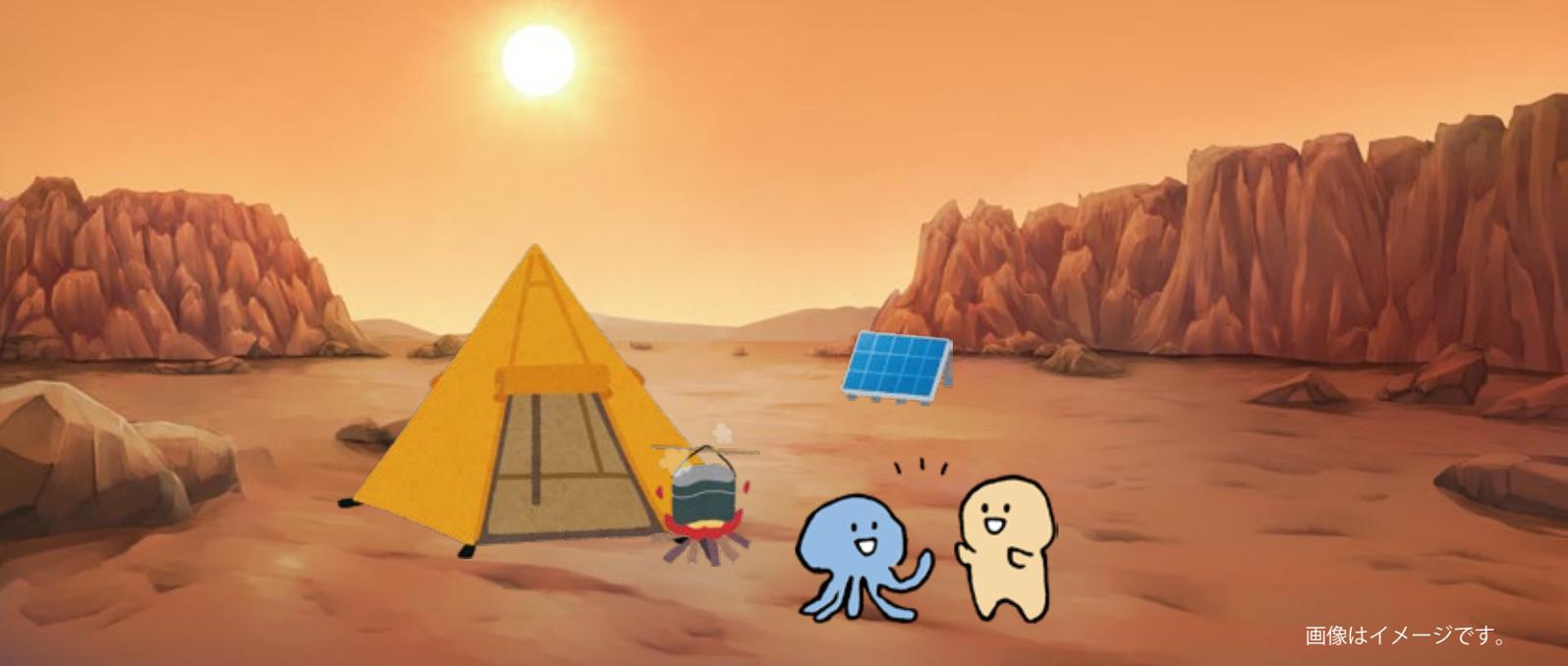


暮らしに活かす、火星の技術

～将来の地球環境にあわせたサステナブルな暮らし方を考える～

変わりゆく地球に、もっともっと長く住み続けるために。
火星での過酷な環境で暮らすための研究成果
(エネルギー、食料、社会について)を学び、
その技術や知識を活かす方法を伺います。



画像はイメージです。

2024 年 1 月 27 日 (土) 13:30～15:00

【会場】 市民交流センター会議室

【講師】 村川恭介氏 (NPO 法人日本火星協会理事長) / 聞き手 小林由高 (逗子文化プラザ市民交流センター副館長)

【料金】 無料

【定員】 40 名 (応募者多数時抽選)

【申込み】 2024 年 1 月 4 日 (木) 9:00 受付開始 1 月 22 日 (月) 受付〆切

①氏名 (カタカナ) ②連絡先 (メールアドレスと電話番号) を電話・FAX・Eメールで、
または直接、市民交流センター窓口へ



[TEL]046-872-3001 [FAX]046-872-3003 [MAIL] ac-center@zushi-psc.org

主催：  逗子文化プラザ 市民交流センター 共催：逗子市

暮らしに活かす、火星の技術

講師プロフィール



村川恭介氏 (NPO 法人日本火星協会理事長)

宇宙建築分野の専門家。

日本で建築設計の仕事に従事した後アメリカに渡り、米テキサス州ヒューストン大学宇宙建築プログラムで、システムエンジニア修士を取得。

学生時代は NASA や米国大手宇宙企業の研究者とともに宇宙ステーション、月面基地、火星基地などの宇宙建築の共同研究に参加。

宇宙産業、宇宙技術動向、宇宙ステーション商業化等の調査研究で多くの実績を持つ。

現在は、宇宙で人間が生活するための宇宙居住施設の研究を行っており、宇宙分野から新しい建築を生みだそうとしている。

【出版物】

宇宙で暮らす! G ハリースタイン (著) 村川恭介 (訳) / もしも宇宙でくらしたら 山本省三 (作・絵) 村川恭介 (監修)

もしも月でくらしたら 山本省三 (作・絵) 村川恭介 (監修) / 論文発表多数 (日本建築学会・日本航空宇宙学会)

宇宙産業、宇宙技術調査コンサルティング (経済産業省委託) 種々雑誌に寄稿

申込み書

氏名 (カタカナ)

E-MAIL

TEL/FAX

質問等がありましたらご記入ください。

※当日の詳細をご案内しますのでなるべくメールアドレスをご記入下さい。

※取得した個人情報、法令で定める場合を除き、明示した利用目的の範囲内でのみ利用します。

※当日の記録写真及び動画などは、開催団体の業務(ウェブサイトやパンフレット等への掲載を含む)に使用させていただく場合があります。

※当日は、新聞やテレビ、インターネットサイトなどの取材が入り、講座の様子が報道されることがあります。

【会場のご案内】

逗子文化プラザ **市民交流センター**

〒249-0006 神奈川県逗子市逗子 4-2-11

TEL : 046-872-3001

FAX : 046-872-3003

MAIL : ac-center@zushi-psc.org

京浜急行「逗子・葉山」駅より徒歩 2 分

JR「逗子」駅より徒歩 5 分

(施設内駐車場は台数に限りがありますので公共交通期間をご利用下さい。)

